八十年ぶりに故郷へ
～笠岡市故原田益男さん～

先の大戦後、旧ソ連のシベリアに抑留されて死亡した旧日本陸軍兵長の原田益男さんのご遺骨が9月9日、80年ぶりに故郷笠岡市笠岡の自宅に戻ることができました。

これは、現地で収集された遺骨と遺族から提供された検体をDNA鑑定したところ、親族関係があるとの結果が導かれたことによるもの。

自宅で県職員から遺骨を受け取った甥孫の原田滋久さんは、「帰ってきてくれて嬉しいです。祖父や父も喜んでくれていると思います。」と話していました。

ご遺骨のDNA鑑定
～本県で2柱身元判明～

厚生労働省では、先の大戦で海外や沖縄、硫黄島で亡くなられた戦没者のご遺骨の身元を特定して、ご遺族のもとへお返しするため、DNA鑑定を実施しています。

令和6年度のDNA鑑定により、本県では笠岡市の原田さんら戦没者2柱の身元が判明し、ご遺族に伝達されました。

■申請者：戦没者の配偶者、子、父母、孫、兄弟姉妹又は甥、姪等

■費用：DNA鑑定料は全額国が負担(申請書郵送料等除く)します。

■対象地域や申請方法、提出先など、詳しくは厚生労働省のホームページをご覧いただくか、同省社会・援護局事業課戦没者遺骨鑑定推進室(直通電話：03-3595-2219)へお問い合わせ下さい。

忠魂碑整備工事の完了
～総社市山田地区～

総社市山田地区では、加茂神社境内の古くなって傷んでいた忠魂碑の整備が完了し、令和6年11月10日、遺族をはじめ30人が参加し慰霊祭が行われました。

この忠魂碑には、日露戦争や太平洋戦争などで亡くなった42人の戦没者が記されています。

昭和3年に建立された忠魂碑は、終戦直後に進駐軍の指示のもとで引き倒され、真っ二つに割れてしまいました。日本の独立後、村民の力で修復されたもので、今も割れた後をはっきり見ることができる貴重なものです。

山田地区では今後次世代に戦争の教訓を伝えていこうと定期的に慰霊祭を行っていくこととしています。

（忠魂碑の「碑」の字の上あたりに割れた跡が残っています）

平和祈願慰霊大行進の参加者募集中

日本遺族会では、毎年6月23日に沖縄県遺族連合会と共催で実施している「沖縄平和祈願慰霊大行進」の参加者を募集しています。

特に今年は終戦80周年の節目の年であり、平和の語り部・体験型として、孫、ひ孫、甥・姪等の青年部の方々の意識高揚にも繋がるので、積極的に参加頂ければ幸いです。

■期間　6月22日（日）～24日（火）2泊3日

■宿泊　那覇市内のホテル

■申込締切　4月25日（金）

■参加費用など詳しくは、県連盟事務局（TEL：086-271-7175）まで

遺族会の動き

【令和7年5月】

5日　県戦没者春季慰霊祭（県護國神社）

6日　県護國神社春季慰霊大祭（県護國神社）

27～28日　県連盟合同研修会（京都方面）

【令和7年6月】

23日　沖縄平和祈願慰霊大行進

30日　全国戦没者遺族代表者会議（東京）

【令和7年7月】

16～17日　県連盟慰霊研修（靖國神社・新九段会館）

【令和7年8月】

15日　全国戦没者追悼式（日本武道館）

【編集後記】

今年は、終戦80年の節目の年で、遺族会に注目が集まるミかもしれません。既にマスコミから何かネタは無いですかと問合せが来ております。皆様の方で何かトピックスや紹介したい事業等があれば、お知らせ下さい。（増本）